





製品仕様書		承認	確認	作成
				
型 録 番 号	HB4323-L15		極 配 置	
製 品 名	引掛形移動用分岐ボックス 30A 漏電ブレーカ付			
定 格	接地形 3P 60A 250V			
索 引				
1. 適用範囲				1 頁
2. 型録番号, 品名, 定格				1 頁
3. 外観, 構造, 寸法, 材料及び色相				1 頁
3.1. 外観				”
3.2. 構造				”
3.3. 寸法				”
3.4. 材料				”
3.5. 色相				”
4. 性能				1 頁
4.1. 電氣的性能				1 頁
4.1.1. 絶縁抵抗				”
4.1.2. 耐電圧				”
4.1.3. 接触抵抗				”
4.1.4. 温度上昇				2 頁
4.1.5. 開閉				”
4.1.6. 漏電ブレーカ特性				”
4.2. 機械的性能				2 頁
4.2.1. 端子部強度 (トルク試験)				”
4.2.2. 外郭強度				”
4.2.3. 引張荷重				”
4.2.4. コード引止部の強度				”
4.3. 耐熱性能 (コンセント樹脂部)				2 頁
5. 端子部接続方法				3 頁
5.1. 電線端末処理				”
5.2. 適正締付トルク				”
6. 包装表示				3 頁
7. 関連規格				3 頁
8. 組立図面				別紙
No15-2-23	作成年月日	'18年 6月 28日	改定年月日	年 月 日

1. 適用範囲

この仕様書は、アメリカン電機株式会社に於いて製造、販売する HB4323-L15 引掛形移動用分岐ボックス 30A 漏電ブレーカ付について規定する。

2. 型録番号, 品名, 定格

型録番号 HB4323-L15
品名 引掛形移動用分岐ボックス 30A 漏電ブレーカ付
定格 接地形 3P 60A 250V

3. 外観、構造、寸法、材料及び色相

3.1. 外観

機能上、並びに使用上有害な変形、キズ、ワレ、ヨゴレ、サビ等がないこと。

3.2. 構造

- (1) 構成部品全てによって形状が正しく組み立てられていること。
- (2) 通常の使用状態で、充電金属部に人が容易に触れる恐れがないこと。
- (3) 端子ねじの作用している山数は 2 山以上あること。
- (4) 開閉の際、アークによる短絡又は地絡を生じる恐れがないこと。

3.3. 寸法

寸法、形状は添付図面のとおりであること。

3.4. 材料

構成部品の材は添付図面のとおりであること。

3.5. 色相

下記色相により、構成されている。

型 録 番 号	ケース	カバー	保護カバー
HB4323-L15	シルバー色(塗装)	シルバー色(塗装)	黒色(塗装)

4. 性能

4.1. 電氣的性能

4.1.1. 絶縁抵抗

500V の絶縁抵抗計で、極性が異なる充電金属部間、並びに各充電金属部と非充電金属部との間を測定した絶縁抵抗値は、開閉試験前で 100M Ω 以上、開閉試験後で 5M Ω 以上であること。(但し、漏電ブレーカを外した状態で測定)

4.1.2. 耐電圧

4.1.1 項の試験部に 50HZ、又は 60HZ のほぼ正弦波に近い交流電圧 1500V を 1 分間加圧したときこれに耐えること。(但し、漏電ブレーカを外した状態で測定)

4.1.3. 接触抵抗

通常の使用状態に於いて、接地極刃受と対応する引掛形さし込みプラグの接地極刃との接触抵抗は 50m Ω 以下であること。

4.1.4. 温度上昇

通常の使用状態に於いて、定格電流 30A を通電し、温度がほぼ一定となったとき、刃受部の最高温度上昇値は 40℃以下であること。

なお、この試験は開閉試験前後に行なう。

4.1.5. 開閉

通常の使用状態に於いて、1.5 倍の電流の 45A 250V 力率約 1 を通電し、毎分 20 回の割合で連続 100 回の開閉を行ったとき、極間短絡その他使用上有害な故障が生じないこと。

4.1.6. 漏電ブレーカ特性

定格使用電圧 AC100V-440V

定格遮断容量 AC200V、230V 7.5kA

定格感度電流 30mA

動作時間 0.1 秒以内

過電流引外し方法 熱動-電磁式

4.2. 機械的性能

4.2.1. 端子部強度（トルク試験）

適用電線を圧着端子で接続し、2.5N・m のトルクを加えたとき、端子又は端子ねじの破損等の異常が生じないこと。

4.2.2. 外郭強度

通常の使用状態に於いて、厚さ 15mm 以上の堅木の平らな板の間に挟み、徐々に押圧荷重を加え、600N に達したときから 1 分間その値に保持したのち、荷重を取り去ったとき、外郭の破損その他使用上有害な故障が生じないこと。

4.2.3. 引張荷重

試験品に対応するプラグを通常の使用状態に正しく組合せ、その間に 300N の引張荷重を連続して 1 分間加えた時、外郭の破損その他使用上有害な故障が生じないこと。

4.2.4. コード引止部の強度

試験品に正しくコードを接続し、コードの引出方向に真直にコードと試験品の間徐々に引張荷重を加え、90N で 1 秒間の操作を 25 回行った時、コード引止部の破損がなくコード接続部のズレが 2mm 以下であること。

4.3. 耐熱性能（コンセント樹脂部）

100℃±3℃の恒温槽内に入れ、1 時間経過ののち取り出し自然に室温まで冷却し点検したとき、軟化、変形、膨れ、その他使用上有害な異常が生じないこと。

5. 端子部接続方法

5.1. 電線末端処理

心線のストリップの長さ 12 mm

心線と圧着端子の圧着方法 JISC9711 屋内配線用電線接続工具又は
圧着端子の製造業者が指定した接続工具による。
適用圧着端子 添付図面のとおりであること。

5.2. 適正締付トルク 2.5 N・m

6. 包装表示

表示事項は、型録番号、品名、定格、数量及び社名等から構成している。

7. 関連規格

JISC8303 配線用差込接続器

JISC8306 配線器具の試験方法

以上